

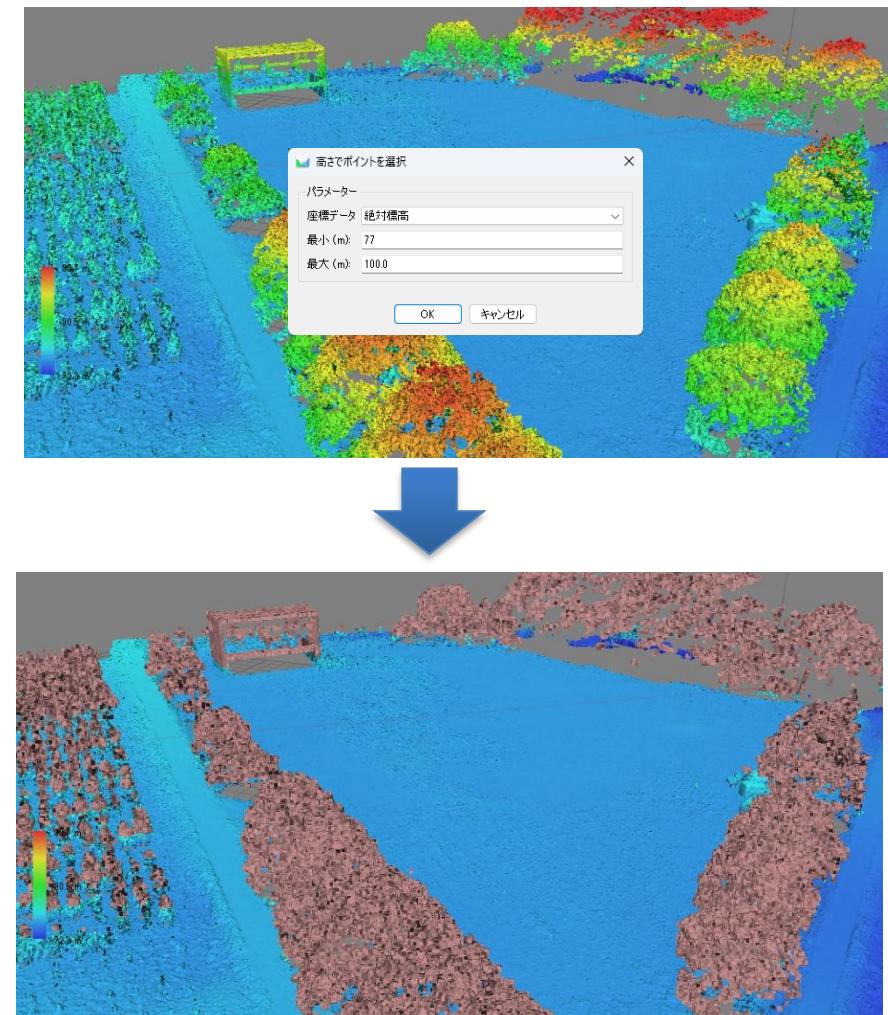
①3Dモデルの品質向上

より自然な仕上がりを実現する新しい「ナチュラルブレンドモード」が追加され、テクスチャ生成時の継ぎ目が目立ちにくくなり、3Dモデルの見た目品質が向上しました。



②LiDAR / 点群処理の機能強化

LiDARや点群に関する機能が強化され、LiDARの位置合わせや点群のフィルタリング、色付け表示などがより柔軟的に行えるようになりました。



③魚眼レンズ対応のカメラモデル追加

魚眼レンズ対応のカメラモデル追加され、超広角や魚眼カメラのレンズ歪みを正確に補正できるようになりました。特殊カメラを使った撮影でも精度の高い位置合わせが可能になりました。



スタンダード版プロフェッショナル版共通の追加機能

- [テクスチャ構築]に、ブレンドモード「ナチュラル」を追加
- モデルビューの右クリックメニューに、テクスチャ補修用の「イメージ割当て」コマンドを追加
- [カメラキャリブレーション]ダイアログに等距離魚眼および等立体魚眼のカメラモデルを追加し、超広角半球レンズに対応
- [ツール → ポイントクラウド]に点群のノイズ除去や不要点削除を行う「クリーンポイントクラウド」コマンドを追加
- [モデルエクスポート]ダイアログにテクスチャ形式として WebP および KTX 2.0 を追加
- 画像からモデルの頂点カラーを計算する処理が GPU アクセラレーションに対応し処理速度が向上
- 画像の[明度設定]ダイアログをヒストグラムベースの明るさ及びコントラスト調整方式に更新

プロフェッショナル版の追加機能

- [カメラキャリブレーション]ダイアログにカメラ軸オプションを追加
- [LiDAR キャリブレーション]に GNSS バイアス調整機能を追加
- [レーザースキャンのアライメント]に深度マップ一致オプションを追加
- 処理レポートにレーザースキャンページを追加
- [レポート生成]ダイアログに LiDAR 分離画像オプションを追加
- [ツール → ポイントクラウド]に「重複したポイントを分類」コマンドを追加
- [DEM/パレット]ダイアログに「凡例の範囲」オプションを追加
- [バッチ処理]ダイアログの「マスク生成」コマンドに深度しきい値パラメータを追加
- ネットワーク環境において独立した処理タスクの並列処理に対応
- 内部円筒投影のオルソモザイクおよび DEM を右手座標系に統一
- [ツール → ポイントクラウド]に高さ条件で点群を抽出できる「高さでポイントを選択」コマンドを追加
- 点群表示において地表面からの高さを可視化する「地表面からの高さ」表示モードを追加
- Pythonをversion 3.12 に更新
- EPSGを version 12.043 に更新